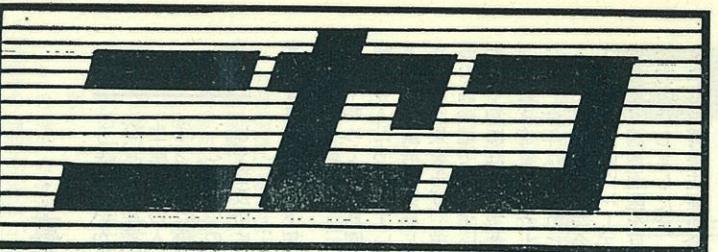


廣報



[深 秋]

善意の赤い羽根とともに10月が始まる。
みのり豊かな収穫の秋、そして味覚の秋、読書の秋、芸術の秋、モードの秋、スポーツの秋…と話題にはこと欠かない多彩な月である。

10月号 No.97



わたくしたちの身のまわりには、意外と病気に悩む人が多いようです。
「かぜ」や「けが」、「腹痛」や「頭痛」と次々にいろいろな病いがわたくしました。そのためにどんなに多くの人が困っていることでしょう。



9月15日 敬老の日、に

わたくしたちの身のまわりには、いろいろな病気に悩む人がいることがわかりました。自分の健康、家族の健康を守るために、もつともつと注意し、少しの病気でも早期診断、早期治療をめざして、明るく健康新生活を送るよう心がけましょう。



あいました。

たくさんのかちそうを前

にして、お年寄りたちは、前

お年寄りをお招きして敬

老会を催しておりますが、

本年はニセコグランドホテルを会場に9月十五日の敬

老の日に行ないました。

当日は二二〇名(該当者

三一〇名)が臨時バス五台

で午前十一時までに会場に

集まり、町長のあいさつのあと本年満八八才になられた男一名女五名に記念品の座布団が贈られ、来賓の祝辞をうけた後、祝宴にはいり、一日楽しく過ごしました。

わたくしてこられたご老

の日に行ないました。

わたくしたちも、長い年

月にわたつて社会の発展に力をつくしてこられたご老

人に敬愛の念をもち、この「敬老の日」を機会にみん

いです。

わたくしたちも、長い年

月にわたつて社会の発展に力をつくしてこられたご老

人に敬愛の念をもち、この「敬老の日」を機会にみん

簡易保険に加入しましょう

—小さな掛金大きな安心=ただいま、郵便局では、簡易保険加入運動を行なつております。

この機会にぜひご加入ください。

簡易保険新規加入運動

昭和42年9月~12月中

○家族保険……1口の契約でご家族のみんなが加入できます。

○クローバー保険……災害の時は契約金額の3倍をお支払いいたします。

○養老保険……10年以上の期間おかげいただきます。

○終身保険……10年または終身おかげいただきます。

本通五町内に住み、今年八十才になる。沢井正さん

（獣医、家畜防疫員）が昭和四十二年北海道高齢者健康コンクールで表彰されました。

本通五町内に住み、今年八十才になる。沢井正さん

（獣医、家畜防疫員）が昭和四十二年北海道高齢者健康コンクールで表彰されました。

澤井さんは、青森県に生まれ、昭和六年、京極町よりニセコ町に移転して以来

獣医師、と畜検査員、家畜防疫員として本町のために活動、この間、狩太村農会代議員、民生委員、共同募金会長などの公職につき、北海道知事により五回、その他、多くの感謝状や表彰が授与されています。

皆さまにおかけいただいた保険料は、公営住宅、橋、水道、高校、町役場庁舎等へ多額の融資をして、町の発展に利用されています。

なで老人のしあわせについて考え、どんな小さなことでも親切にいたわつてあげるようにいたしました。

記念品を贈られた人は、次の六名です。

豊里 定助 本通一 横川 はる 本通五 小松 マツ 本通七 佐藤いせの 本通九 漆原 すて 本通十 藤沢 コヨシ

記念品を贈られた人は、

お年寄りたちは、昔話に花を咲かせ、踊つたり歌つたり、おたがいに幸福な余生を送ろうと励ました。

わたくしたちも、長い年

月にわたつて社会の発展に力をつくしてこられたご老

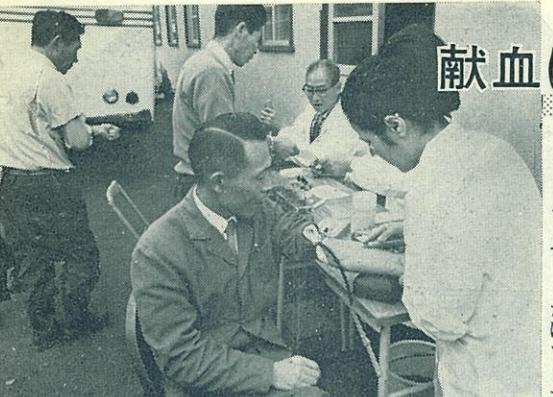
人に敬愛の念をもち、この「敬老の日」を機会にみん

いです。

わたくしたちも、長い年

月にわたつて社会の発展に力をつくしてこられたご老

人に敬愛の念をもち、この「敬老の日」を機会にみん



献血はみんなのできる助け合い

△ 健康な時に
献血をV

近な人が輸血の必要のあるとき、いつでも、優先的に血液が供給されます。健康的なときには、献血しま

しょ。

△ 献血による不安はないV

初めて献血される人は、

安心になりがちですが、わ

たくしたちの体内には三〇〇

ccと一五〇〇ccの血液

がめぐつており、一〇〇

ccと一五〇〇ccは肝臓や骨

髓なども、いつ病

気がわかります。

△ 健康な時に
献血をV

献血は、血

液を無償で提

供し、社会に

奉仕すること

です。

△ 健康な時に
献血をV

献血は、血

液を無償で提

供し、社会に

奉仕すること

です。